

アシスタントスコアラー書き方マニュアル

《試合開始前》

① 試合情報の記入

- ・大会名、会場、日付、時間、区分、コート、チーム名、記録チームの記入
(既に印刷されている場合は省略)

※記録チームは自分が立つ側と逆のチーム名を記入する

② ファーストセブンの確認

- ・スコアラーが確認したファーストセブンを記入する

→記入されている背番号と実際にコートに入った背番号が合っているか確認

《試合中》

③ 得点の記入とアウトの選手管理 (得点・失点は立つ側と逆のチームから見て)

- ・得点が入ったらアウト選手の所にアウトになった選手の背番号を記入し
シッティングブロックにスコアに記入した順番通り整列させる

※複数得点の場合はレフリー、アンパイアのコールした順で記入し整列させる

- ・ボーナスポイントが入ったらアウト選手の所、復活選手の所に△印を記入
- ・スーパータックルが起こったらアウト選手の所、復活選手の所に×印を記入
- ・テクニカルポイントが入ったらアウト選手の所、復活選手の所にTを記入
- ・ローナーになったらアウト選手の所にLを記入し、復活選手の所は全て一線で埋める

※ローナーポイントが場合によって変わるので2点の場合は2マス、
3点の場合は3マス記入する

- ・ボーナスポイント・スーパータックル・テクニカルポイント以外の失点があった場合
失点分の選手をスコアに記入された順番でコート内に復活させ、復活選手に記入する

④ 選手交代時の対応

- ・選手交代を告げられた場合、入る選手出る選手の確認を行い、選手交代欄のINに
入る選手、OUTに出る選手を記入し、レフリー、アンパイアに報告する

⑤ ラインアウトのチェック

- ・レイドがコートに入ってきたら、アンティ、レイドがラインアウトしないか
エンドライン、サイドラインをよく確認する

※見えやすい位置に移動しながら、ラインアウトをよく確認する

- ・アンティにラインアウトがあった場合、ラインアウトを大きな声で宣言し、
アウトになった選手を素早く外に出す

※宣言は「○番ラインアウト」と大きな声で言う

- ・レイドにラインアウトがあった場合、レフリー、アンパイアに報告する

※「レイダーラインアウト」と大きな声でレフリー、アンパイアに向かって言う

⑥ 前半終了時の処理

- ・前半が終了したら、スコアラーと得点が合っているか確認する
- ・前半が終了したら、アウト選手欄、復活選手欄の最終記入マスの横に波線を引く
上にHの印を書く
- ・各チームの前半の得点をアウト、ボーナス、ローナー、テクニカル、スーパータックルに分けて記入し合計を記入する

⑦ タイムアウト後試合再開時、後半開始時の準備

- ・開始前にコート内の選手の確認をし、シッティングブロックの選手をスコアに記入した順番通り整列させる

⑧ 試合終了時の処理

- ・得点板の点数、スコアラーの点数が合っていることを確認する
- 得点が合っていれば試合終了
- 得点が違っていれば、スコアラーのスコアと照合する
- ※照合しても原因がわからない場合、スコアラーの得点を正しい得点とする

《試合終了後》

⑨ 得点の集計

- ・各チームの後半の得点をアウト、ボーナス、ローナー、テクニカル、スーパータックルに分けて記入し合計を記入する
- ・合計得点を記入する

⑩ サイン

- ・全ての記入が終わったことを確認し、アシスタントスコアラーサインにフルネームを記入する
- ・レフリー、アンパイアにサインをもらう（姓のみでも可）